

鳥取県中部地震に係る 鳥取県災害対策本部幹事会会議（第2回）

【日時】 10月31日（月）16:00～

【場所】 災害対策本部室（県庁第2庁舎）

【目標】

被災者に安心と健康を

避難の早期解消

1 県の対応状況など

10月21日（金）

14:07（発災同刻） **県災害対策本部設置**

15:05 第1回災害対策本部会議（直近10/25 第7回会議）

16:20～ **災害時緊急支援チーム派遣（倉吉、湯梨浜、北栄）**

19:22 **自衛隊の災害派遣（倉吉市へ給水）**

【災害救助法の適用】 10/24三朝町を追加適用

◆**県内4市町に災害救助法を適用**

（倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町）

◆**適用日 10月21日（4市町とも）**

2 物資等の調達・支援

- 被災市町（倉吉市、湯梨浜町、北栄町）へ食事、飲料水、毛布を調達済
食事は継続して手配中
- 離乳食（湯梨浜町）の要請 対応済
- ブルーシート、固定用ロープ等の配布・敷設準備
兵庫県、徳島県、熊本県、県内市町村、中国地方整備局、中国知事会、協定業者等から調達。
自衛隊・県職員災害応援隊が支援（10/22～）
- 倉吉市ボランティアセンター設置のため電話の臨時設置
NTTと倉吉市社協で詳細調整
- 避難所の物資ニーズを調査中
随時対応予定。ストーブほか納品済

3 り災証明の受付状況 28.10.30現在

鳥取市(10/26~)受付数38件

倉吉市(10/23~)

三朝町(10/24~)受付数509件

湯梨浜町(10/23~)受付数550件

北栄町(10/25~)受付数1,236件

琴浦町(10/24~)受付数184件

伯耆町(10/22~)受付数1件 合計2,518件

倉吉市は、住民の届け出により、被災状況調査を実施し、罹災証明願を受付ける方式をとっている。(30日現在届出数5,833件)

4 目標

目標

被災者に安心と健康を 避難の早期解消

1 健やかな避難生活に向けて

- ・エコノミークラス症候群への対応 など

2 被災証明書の早期発行

- ・建物被害認定要員の増員配置 など

3 住宅政策

- ・公営住宅や借上住宅の提供 など

5 各部局の対応状況など

元気づくり総本部

（元気な鳥取の情報発信）

イベントやメディアを活用した元気な鳥取発信

【風評被害払拭大作戦】

首都圏・関西圏での観光キャンペーンと連携したPRイベントの実施
様々なメディアを活用した全国への情報発信
観光宣伝、宿泊サイトへの広告・情報発信・送客要請活動
海外からの誘客に向けた情報発信

災害被災地応援サイトの充実による情報提供

被災者が必要とする情報に合わせ、鳥取県ゆかりの方々からの応援メッセージなど被災者を元気づける情報の発信

（白鵬関、石浦関、蓮佛美沙子さんほか順次掲載）

新たに住宅再建支援等を掲載

観光地や交通機関等、観光地鳥取が元気であることの発信

(パンフレット等による支援施策の広報)

被災者向け、被災事業者向けに各種支援施策を取りまとめたパンフレットを作成し、市町等を通じて配布
支援施策を追加した改訂版を発行 (第2版:10/31発行)

【部数】:1,000部(第1版:10/25発行)

【配布先】:倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町、中部総合事務所

【主な掲載内容】

- ・被災者住宅再建支援補助金、被災者住宅修繕支援金
住宅が被災した世帯の住宅再建及び修繕を支援
- ・災害等緊急対策資金の貸付
施設・設備等の損壊や売上げ減少などの被害を受けた県内中小企業者に事業資金を貸与 等



避難生活の留意点や相談窓口、り災証明の説明などを掲載したチラシを作成し、各避難所などに掲示及び配布 (随時更新中)

広報媒体を使った支援施策等の広報

- ・新聞広告(施策広報)
- ・県政だより12月号巻頭特集

総務部（応援職員派遣状況）

1 専門職の派遣

- ・ 土木（宅地危険度判定士） 12名
- ・ 建築（応急危険度判定士） なし 10/29をもって終了
- ・ 農業土木 なし
- ・ 保健師 7名（倉吉市へ6名、北栄町へ1名）
上記以外に島根県、山口県、岡山県、広島県、琴浦町からも計20名を派遣

2 避難所運営等の行政支援

各部局からの動員職員 43名

市町からの要請に応じて避難所運営、支援物資の配送、がれき置場の管理等に従事

(内訳) 倉吉市 : 21名
北栄町 : 14名
湯梨浜町 : 8名

総務部（避難所運営支援状況及び ふるさと納税受付体制の状況）

3 避難所運営物資（段ボール）の供給

災害時における物資供給に関する協定書に基づき、日段（株）に製造供給を要請。

要請受付	市町名	品目及び数量	納品先	対応状況
10/22(土)	倉吉市	間仕切り用段ボール:2,000枚	倉吉市スポーツセンター体育館	引渡完了
10/25(火)	湯梨浜町	段ボールベッド:50床 間仕切り用段ボール:160枚	湯梨浜町役場本庁舎講堂	引渡完了
10/26(水)	倉吉市	段ボールベッド:100床	倉吉市スポーツセンター体育館	引渡完了
	北栄町	段ボールベッド:30床 間仕切り用段ボール:90枚	北栄町役場大栄庁舎	

4 災害支援寄附金の受付

- 10月22日21時から鳥取県への災害支援を目的としたふるさと納税の寄附受付開始。災害支援を目的としたものであることからお礼の品は提供しません。
- 31日午後2時現在 391件 794万円の寄附の申し込みをいただいています。
- 倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町においても、民間のふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」で災害復興支援の受付を実施。

地域振興部(公共交通機関の運行(運航)状況)

1 航空関係

国内線、国際線:通常運航

(1) 米子空港

国内線

・22日(土)以降、ANA国内線は通常運航

国際線

・香港便 22日(土) 台風の影響のため遅延
26日(水) 以降通常運航

・ソウル便 通常運航

(2) 鳥取空港

・22日(土) 以降、ANA国内線通常運航

・24日(月) 以降、鳥取空港連絡バス(倉吉方面)のうち三朝発着便(1日1便運行)は、路線バスが倉吉市内の一部迂回運行中は、鳥取空港 - 倉吉駅間運行とする。

2 鉄道

・22日(土)始発から、普通列車、特急列車いずれも通常運行。

3 バス(日ノ丸、日交、市町村営バス)

・23日(日) から県内全路線で通常運行

ただし、倉吉市内の一部区間(大原橋バス停 ~ 大原南口バス停)で迂回運行

4 隠岐汽船

・22日(土)から高速旅客船、フェリーともに通常運航

公共交通機関はすべて通常運行

日ノ丸バスが、倉吉市内の一部区間(大原橋バス停 ~ 大原南口バス停)で迂回運行中

鳥取空港連絡バス(倉吉方面)のうち三朝発着便(1日1便運行)は、上記迂回運行期間中は、鳥取空港 - 倉吉駅間運行とする。

本部会議報告時(10/28)から特段の状況の変化なし

地域振興部(文化・体育施設の状況)

1 倉吉未来中心

- ・復旧に最低でも3か月以上かかる見込み
- ・専決により3億8千万円の復旧予算措置
- ・入居者の施設外への移転を開始・準備中
- ・被害の詳細について急ピッチで調査を進めており、11月9日(水)に改修方針を協議予定(県、設計者、施工者)

【被害状況】

- ・アトリウムの吊り天井の一部(約140㎡)が落下、内壁仕上げ材落下(複数箇所)
- ・アトリウムのトラス基礎部分に著しい損傷(事務所側のトラス基礎)等

2 倉吉体育文化会館

- ・体育館は復旧まで利用中止(数か月程度が見込まれる)
- ・会議棟は給水管で新たな破損が見つかり、10月31日以降、営業しながら並行して修繕を進めていく。

【被害状況】

- ・体育館 90cm四方の天井板が30数枚落下、外回り高窓ガラスが破損・落下、1・2階部で軒天井仕上げ材等破損落下など
- ・会議棟 屋上高架水槽破損により漏水(水道の使用不可)など

・倉吉未来中心は、被害調査を進め、11/9に改修方針を協議予定

・倉吉体育文化会館の会議棟は10/31から開館しているが、営業しながら並行して給水管を修繕していく予定

注) 2施設とも倉吉市の避難所の指定となっているが、安全確認がされるまで閉館

地域振興部(国立大学、私立学校、各種学校の状況)

本部会議報告時(10/28)から特段の状況の変化なし

1 私立学校の授業等

・倉吉北高校及び湯梨浜学園高等学校・中学校も、25日(火)より通常授業

・生徒の心のケアのため、

倉吉北高校には10/25、26、28日に敬愛高校から1名

湯梨浜学園には10/25～28日に城北高校から1名

スクールカウンセラーを派遣(10/31以降も当面2週間程度派遣の予定)

2 被害状況(平成28年10月26日から変更なし)

施設	被害状況等
倉吉北高等学校	体育館壁プレス、校舎防火扉損壊等
湯梨浜学園高等学校・中学校	校舎屋根瓦、体育館、防火扉損壊等があり、大掛かりな修理が必要
鳥取看護大学・鳥取短期大学	エレベーター外壁に亀裂、階段・通路の破損等があり、エレベーターを中心に大掛かりな修理が必要
岡山大学惑星物質研究所(三朝町)	棟内各所の壁にひび割れ、配管、ドア及び基礎コンクリートの破損等
鳥取県自動車学校(倉吉市西倉吉町)	教室、食堂のエアコン脱落、食堂の天井脱落、基礎破壊等があり、大掛かりな修理が必要
鳥取県倉吉自動車学校(北栄町)	校舎壁や天井、ガラス、ドアの破損多数、亀裂等があり、大掛かりな修理が必要
鳥取県中央自動車学校(倉吉市福庭町)	玄関入り口階段破損、一部天井脱落、校舎内壁亀裂等
倉吉予備校	校舎壁、床にひび割れ

地域振興部(被災市町への市町村職員応援)

人員がひっ迫する業務等に関して、速やかに職員が派遣できるよう、引き続き関係機関と連携し、調整に当たっていく

1 被災市町への職員応援体制

- ・**県市長会及び県町村会と連携し、市町村職員の派遣支援体制を23日(日)に整備し、職員派遣の調整を実施中。**

保健師派遣等、他に職員派遣に係るルートがあれば、そちらを優先

職員派遣情報は関係機関で共有

- ・**県町村会では、今後の状況に応じて、徳島県町村会など近隣の町村会へ応援要請を行うほか、全国町村会へ応援要請を行うことも検討中**

- ・**人員がひっ迫する罹災証明書発行業務等に関しては、生活環境部、総務部等関係部局と連携し、各市町において必要となる人員が迅速に確保できるよう対応していく。**

2 被災市町村への応援状況

(市長会・町村会ルート)

<調整済(今後の予定含む。)> **平成28年10月31日 11:00時点**

派遣元	派遣人数(人日)(累計)				
	倉吉市	湯梨浜町	北栄町	三朝町	
鳥取市	125	93	20	6	6
米子市	96	58		27	11
倉吉市	0				
境港市	27	13		9	5
岩美町	30	15	3		12
若桜町	11				11
智頭町	17			2	15
八頭町	20		3		17
琴浦町	6	6			
大山町	32	6	9	17	
南部町	17	2	5	8	2
伯耆町	11		5	6	
日南町	2		1		1
日野町	17		2	15	
江府町	6		4	2	
合計	417	193	52	92	80

<調整中>

倉吉市	現在応援を受けている避難所運営業務の延長要請(～11/7)
三朝町	罹災証明受付・交付事務等(5名、11/7～)
湯梨浜町	家屋被害調査員(6名)及び災害対応にあたる町職員の代替職員(9名)
北栄町	災害対応にあたる町職員の代替職員(7名)

13

観光交流局

観光相談窓口への問合せ件数及び 宿泊キャンセル数

平成28年10月31日14時現在

1 観光相談窓口への相談・問合せ状況

31日14:00までの相談・問合せ件数 45件 (観光地等の被災状況、交通規制情報、イベント開催予定等)
28日14時以降、新たな問い合わせ3件 県内の観光に関する問合せ相談窓口電話:0857-26-7273、7421

2 県内旅館・ホテルの予約キャンセル数(概算)

予約キャンセル数(10/31時点) **13,198泊**

10.28時点
11,080人泊(2,118人泊増)

	営業継続 ・再開	休業中	キャンセル数		計	
			10月21~23日	それ以降		
東部	鳥取温泉	4	0	158	268	426
	岩井温泉	3	0	40	184	224
	吉岡温泉	11	0	0	0	0
	浜村温泉	2	0		212	212
	若桜町内	-	-	233	32	265
	計		0	643	484	1,127
中部	三朝温泉	22	3		4,788	4,788
	はわい・東郷温泉	14	0	916	923	1,839
	関金温泉	3	1	78	140	218
	倉吉市内	16	5		266	266
	計		9	5,782	1,329	7,111
西部	皆生温泉	20	0	2,645	1,130	3,775
	米子市内	-	-	182	210	392
	境港市内	-	-	150	0	150
	大山周辺	-	-	372	271	643
	計		0	3,349	1,611	4,960
合計			9	9,774	3,424	13,198

福祉保健部の対応状況

1 健康支援対策

(1) 在宅支援

保健師の支援体制

鳥取県・琴浦町・広島県・岡山県からの派遣チーム(17人)が倉吉市において、在宅の要支援者(高齢者・障がい児者・妊産婦・新生児等)の訪問や電話連絡を実施中。

各市町の保健師は要継続者を支援。

在宅者巡回訪問の状況と判明した課題とその対応状況

・不安を訴える者・運動不足による足腰の痛み・不眠・食欲不振、血圧の上昇等心身の健康に対して支援。

・精神障がい者等不安定な者に対する支援 専門職へつなぎこころのケアを対応中。

・感染症、エコノミークラス症候群、生活不活発病の予防など引き続き周知。

どの市町も自治体役員や民生委員との連携による支援が充実。

継続訪問並びに支援の必要な者を随時協力機関につないでいる。

(2) 避難所支援

各市町保健師が巡回。

協力機関の支援状況

福井大学医学部(山村医師)の活動

10 / 29 倉吉市の避難所をチーム(医師2、検査技師1)でエコノミー症候群の巡回検診(下肢静脈エコー)を21名に実施、陽性者なし、要注意者の9名に予防サポーターを配布

鳥取県看護協会災害支援ナースが湯梨浜町、三朝町、北栄町の避難所で活動

(24時間体制)

鳥取看護大学が倉吉市においてボランティア対象の健康相談等を実施
精神保健福祉センター原田所長は、被災者のこころのケアに適時対応

福祉保健部の対応状況

JRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)がエコノミークラス症候群
予防対策等の活動
歯科医師会が歯科口腔に関するアセスメントや口腔ケア

(3) 地域災害医療コーディネーター拡大会議の開催(10/29)

避難所等での災害関連死等を防ぐため、中部医師会、看護協会等地域医療コーディネーターに関係機関を加えた拡大会議を開催し、関係者間で情報共有を図り、今後の対策を検討した。

【参集機関】 中部医師会、中部歯科医師会、中部薬剤師会、厚生病院、中部福祉保健局

中部の市町村、看護協会、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士会

精神保健福祉センター、栄養士会、健康運動指導士会、感染症制御ネットワーク(ICN)、鳥取看護大等

【課題と対応】・生活不活発予防

全ての避難者に段ボールベッドを活用すること(感染症予防の観点・寒さ対策にも有効)

避難所の状況を確認

運動指導をするリハビリ職の派遣

JRATの活用

・感染症対策

インフルエンザワクチンの接種勧奨

チラシは市町対策本部に配布済み(10/27)、活用状況の確認

アルコール消毒薬等の配置、ノロウイルス対策(嘔吐処理セットの準備)の徹底

感染症対策専門家の活用を検討

・職員の疲労(心の疲労を含む)への配慮 休暇取得等の推進(強制的な対応が必要な段階)

これらについて、災害対策本部から市町災害対策本部へ申し入れ徹底を図る必要がある

福祉保健部の対応状況

2 「平成28年鳥取県中部地震災害義援金」の募集中

受付期間 平成28年10月25日(火)から平成28年11月25日(金)まで

実施方法

- (1)募金箱の設置 鳥取県共同募金会、NHK鳥取放送局、県庁(県民課)、各総合事務所地域振興局、
県立図書館、県立博物館、県外本部等
- (2)口座振込み 日本赤十字社、共同募金会、鳥取県の各指定口座
- (3)現金書留による送金 現金書留でお送りいただく場合は、現在、鳥取県共同募金会(鳥取県福祉人材研修センター内)で手数料が無料になるよう手続中(11月1日(火)から手数料無料)

災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンター設置・活動状況

市町	開設場所	10月31日(月)の活動内容
倉吉市	上灘 公民館	65名のボランティアが活動中(午前中) 活動内容:ブルーシート張り、家屋片付け、瓦礫撤去
湯梨浜町	湯梨浜町役場 別館講堂	4名のボランティアが活動中(午前中) 活動内容:ブルーシート張り、家屋片付け
北栄町	北栄町 社協	71名のボランティアが活動中(午前中) 活動内容:ブルーシート張り、瓦礫撤去
三朝町	三朝町 社協	4名のボランティアが活動中(午前中) 活動内容:ブルーシート張り、瓦礫撤去
県社協	鳥取県社協	災害救援ボランティアセンター支援本部の運営 活動内容:市町の災害ボランティアセンターの支援 倉吉市:2名、湯梨浜町:1名、北栄町:1名、三朝町:1名派遣

生活環境部の対応 1

【対応状況】 第8回本部会議以降の変更箇所を下線。

<p>上・下水道</p>	<p>< 上水 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 倉吉市: 復旧作業により、管路等の破損箇所は全面復旧し断水解消。 配水塔(生竹地区)倒壊の危険があり、3世帯(11人)避難中(当面の応急措置完了)。 各町: 断水は解消。 <p>< 下水 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道被災箇所が徐々に判明し、市から応援調査員を町へ派遣中(湯梨浜町)。 県浄化槽協会との協定により、浄化槽の点検を無料で実施中。~11月18日(金)まで。
<p>災害廃棄物の仮集積場</p>	<p>倉吉市: 1カ所。22日14時から受け入れ開始。(10/24からは9~17時受入れ)</p> <p>三朝町: 1カ所。23日8時30分から受け入れ開始(8時30分~17時受入れ)</p> <p>湯梨浜: 3カ所。22日13時から受け入れ開始(9~17時受入れ)</p> <p>北栄町: 2カ所。22日15時から受け入れ開始(9~17時受入れ)</p> <p>琴浦町: 1カ所。24日10時から受け入れ開始。(10~15時受入れ) 10/30閉鎖</p> <p>墓石の処理については、個人処理とするよう調整。</p> <p><u>県、市町村、事業者で協議(10/27)に基づき、量の多い倉吉市、北栄町でも搬出作業を開始</u></p> <p>ほうきりサイクルセンター焼却炉2号炉について、焼却炉内部の耐火レンガ等が落下し運転が不可能 修繕に12月一杯かかるみこみ。</p> <p>現状は1号炉が問題無く運転中であり、処理はできている。</p>
<p>避難所宿泊者の温泉旅館でのおもてなし</p>	<p>避難生活で疲労の蓄積している避難所宿泊者を温泉旅館・ホテルでおもてなしすることを県旅館ホテル生活衛生同業組合と調整中。</p>
<p>悪質商法への注意喚起など</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県の被災地応援サイトに情報掲載。 被災者向けチラシを作成し、配布を手配済み。 被災した中部消費生活センターは、10月28日から倉吉交流プラザ相談業務を再開。

生活環境部 2

【対応状況】 第7回本部会議以降の変更箇所は赤字・下線。

<p>応急危険度判定</p>	<p>【実施状況】<u>10/29で判定活動終了。</u> <u>判定件数7,159件</u> <u>うち「危険」292件、「要注意」1,203件</u> <u>判定士数延べ447人</u></p> <p>23日:17名(8チーム) 倉吉市以外の市、県の職員、徳島県(2名) 24日～:島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、宮城、中国地方整備局から応援 <u>県外延べ254名応援受入れ</u>(24日38名、25日54名、26日54名、27日50名、<u>28日34人、29日22名</u>)</p>
<p>り災証明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県建築士事務所協会、県内市町村に業務経験者の派遣を要請中。 ・ 本日、総務省を通じた全国自治体への応援要請 <u>【総務部対応】</u> 本格着手後、一次判定を2週間で終わらせることを目標に、必要な職員数を算定し業務体制を構築。
<p>住宅再建支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被災した住居の修繕支援について、24日に被災者住宅再建支援制度運営協議会で一部損壊を対象とすることを確認。 ・ 25日の知事専決補正予算により鳥取県被災者住宅再建当総合支援事業を実施。 被災者住宅再建支援補助金 助成額:30万～300万円 対象:全壊、半壊、一部損壊(損害基準判定10%以上の世帯) 被災者住宅修繕支援金 助成額:5万円(但し、4%以下の軽微な損壊は、段階的に1万円まで支援額を引き下げ) 対象:一部損壊(損害基準判定10%未満の世帯) ・ 支援金交付要綱及び申請様式を市町村へ配布済み、31日に市町村説明会を<u>開催</u>。
<p>住宅の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅に戻れない場合に、入居可能な県営住宅を確保。10月26日から入居希望を受付。 県営住宅の募集戸数を追加。19戸 48戸(鳥取市内7、倉吉市内35、米子市内6) ・ <u>31日</u>正午現在申込受付<u>33件</u>(土日も中部総合事務所で申請受付) ・ 県職員住宅12戸を確保(鳥取市内4、倉吉市内5、米子市内3) ・ 倉吉市、三朝町内の雇用促進住宅(4団地)の活用及び見なし仮設住宅についても検討中。
<p>建物修繕相談窓口</p>	<p>10月23日、中部総合事務所2号館(2階)に『被災建物修繕等総合相談窓口』開設。 9～17時まで、2名体制(県職員+県瓦工事業組合)で対応。</p>

生活環境部（罹災証明業務支援）

被災市町が実施する罹災証明業務を支援

県建築士事務所協会、県内市町村、関西広域連合に業務経験者の派遣を要請中。
本日、総務省を通じた全国自治体への応援要請について、被災市町と打合せ実施。
・本格着手後、一次判定を2週間で終わらせることを目標に、必要な職員数を算定し業務体制を構築。

不足する人員を、総務省経由で全国自治体に対し、派遣要請。【総務部対応】

応援必要人数

市町名	一日当たり必要応援人数 (A:単位 人/日)	調査想定日数 (B:単位 日)	調査に必要な延べ人数 (C = A × B:単位 人)
倉吉市	18	14	252
湯梨浜町	18	14	252
北栄町	8	20	160
三朝町	9	20	180
計	53		844

(参考) 業務班編制: 罹災証明応援職員2名 + 被災自治体職員1名 = 3名 / 班
被災自治体職員が不足する場合は、県内市町村職員及び県職員が応援。

商工労働部(被害・対応状況)

県内企業の被害状況の概況

10/28 17時以降の新たな情報を下線で記載。

県内の主要製造業 (主要製造業約50社を調査)

- 現時点では、聞き取りを行った約50社のうち9割近くが操業を再開。(完全復旧はまだ先)

県内の中小・小規模事業者 (中部管内の商工団体会員約2,300社を対象に調査中)

<小売・飲食業> 建物屋根・壁のヒビ・剥落のほか、

- ・小売業では陳列商品の落下による破損が発生。(瓶詰の酒・飲料・油等)
- ・飲食業では食器等の落下が多発、レジ・厨房機器の破損も発生。

<製造業> 建物被害のほか、生産ラインの機械設備の破損、ズレ等が多発。

<その他> (自動車整備) リフトアップ中の車両が落下し、他の整備車両含め被害発生。

(石材加工業) 石材商品が倒壊し、損害が発生。

(運輸業) 自粛ムードが広がり、行楽用レンタカー・バスのキャンセル発生。

倉吉商工会議所も復旧し、中小小規模事業者の被災状況を調査中。

- ・建物内の安全を確認後、10/25(火)に「鳥取県中部地震特別相談窓口」を開設。
- ・管内の会員企業約1,000社の被災状況を調査するとともに、相談も受付。

県内各支援機関、鳥取労働局も特別相談窓口を開設して相談に対応。

<県内の他の支援機関> 商工団体、政府系金融機関などにも「特別相談窓口」を開設。災害復旧貸付、既往債務の返済条件緩和等に対応を実施。

<鳥取労働局> 鳥取労働局・労働基準監督署に「特別相談窓口」を開設。休業に伴う労働相談、復旧作業に当たる労働者の安全相談や、失業給付受給の手續緩和等を実施。

商工労働部(今後の取組)

今後の支援

- 鳥取県中部地震からの復興を話し合う官民会議(10/26)
「元気に事業継続していけるよう、金融支援や風評被害を封じる対策を」
- 10/27、商工団体・金融機関・県が集まり「復興に向けた企業支援施策に係る関係機関会議」を開催。
県の「特別金融支援事業」を始めとする企業支援策について情報を共有し、積極的に活用して復興に取り組むことを確認。

「震災対策企業支援ネットワーク」を立ち上げ、 被災企業の経営課題に応じた具体的な支援を実行(11/1~)

(メンバー) 商工団体・金融機関・保証協会・産業支援機関・国(経産局・労働局)・県・市町
(役割) 被災企業の金融支援(借換資金・条件変更等)、経営支援(技術的支援・販路開拓等)、
雇用支援(雇用継続・健康管理等)をトータルで支援。

- 11/1から毎週定期的に支援会議を開催(国機関も加え、連携のとれた一体支援を実施)

適時に予算措置を講じ、切れ目ない支援を展開

専決予算

「がんばる企業を応援！特別金融支援事業」

- (1) 災害等緊急資金「鳥取県中部地震対応枠」の増枠(10億円 50億円)
- (2) 復興支援利子補給制度の新設(5年間無利子化)
- (3) 復興支援保証料軽減補助制度の新設(5年間無保証料)

11月補正

商圏拡大・需要獲得支援事業<調査検討型(生産性向上枠)>の増枠
県外・海外への商圏拡大及び需要獲得のための調査・検討経費支援を増額

検討中

鳥取県版経営革新総合支援事業<スタート型・生産性向上型>の増枠²²
地震を機に生産体制を見直し、販路開拓等で売上拡大を図る事業者迅速に対応

農林水産部の対応

1. 被害施設の速やかな復旧支援

- JA選果場等の共同利用施設について、国事業を活用しながら、速やかな復旧を支援する
- 被害内容・規模を精査中であり、応急危険度判定士診断は完了
(現在判明分で既に被害規模は約5億円)

施設区分	主な施設名	主な被害内容	被害額(概算)
選果場、集荷場	倉吉梨、東郷梨、大栄西瓜	建物破損(壁・ガラス割れ、基礎)、選果機破損	280,000千円
ライスセンター、カントリーエレベーター	秋喜、北条	建物・乾燥施設の破損	188,000千円
漁業施設	赤碓町漁協、 <u>県漁協荷さばき所</u>	外壁一部崩落	<u>1,100千円</u>
大山乳業農業協同組合	粉乳工場	建物・工場基礎の破損	<u>28,000千円</u>

2. 落果梨の販売促進

- 中部全域で落果被害があり、被害額は6,272万円
- 東京・大阪で梨販売促進キャンペーンを実施(10/27:東京アンテナショップ、10/28:JR大阪駅)
- 落果梨はほぼ集荷しており、市場・小売店販売のほか、県外自治体(真庭市、港区役所)等からの要請に基づき全量出荷

取扱い中のイオングループ販売単価: @298円 (通常の販売価格は400円~500円)

千疋屋は落果していない梨の取扱いを検討中、11/2に来県予定

農林水産部の対応

3. ため池、農地、農業用施設の災害復旧

- 被災箇所の確認作業を進めており(現段階で被害箇所:141箇所、被害額:約1億2千万円)、国・県事業を使いながら速やかな復旧を支援する

区分	主な被害場所	主な被害内容	被害額(判明分)
農地	湯梨浜町(長瀬)、三朝町(鎌田)等 <u>26箇所</u>	芝畑の液状化、水田・畑法面の崩壊	<u>12,000千円</u>
ため池	倉吉市(池ノ谷)、琴浦町(松谷第1)等 12箇所	天端クラック、連絡道の路肩崩壊、崖の崩壊	5,200千円
農道	倉吉市(大平農免)、北栄町(北条西農免)等 <u>63箇所</u>	路面クラック、法面崩壊	<u>51,200千円</u>
水路	倉吉市(四王寺)、北栄町(北条砂丘)等 27箇所	水路法面崩壊、水路壁クラック、パイプライン漏水	14,100千円
集落排水	倉吉市、湯梨浜町等 12箇所	施設の地盤沈下、施設の破損	41,200千円

4. 食糧の調達

- スーパーマーケット、コンビニ等からの手配により十分な食糧を調達する
- 30日からカップ付きスープ類を提供

日付	要請元(食数)	手配状況
<u>10月31日</u>	倉吉市(<u>500食</u>)、湯梨浜町(<u>50食</u>)、北栄町(<u>85食</u>)、三朝町(<u>0食</u>)	コンビニ、仕出し店から、水・弁当等を調達
<u>11月1日</u>	倉吉市(<u>400食</u>)、湯梨浜町(<u>50食</u>)、北栄町(<u>80食</u>)、三朝町(<u>30食</u>)	コンビニ、仕出し店から、水・弁当等を調達
<u>11月2日</u>	倉吉市(<u>300食</u>)、湯梨浜町(<u>50食</u>)、北栄町(<u>70食</u>)、三朝町(<u>30食</u>)	コンビニ、仕出し店から、水・弁当等を調達

県土整備部の対応

1. 県土整備部所管にかかる被害、点検状況 31日13時時点(は28日13時時点からの追加部分)

(1) 公共土木施設被害状況

道路

【通行止】県管理 全面2路線、片側0路線

全止 県管理 鳥取鹿野倉吉線(三朝町大瀬～倉吉市大原) 11 / 2片側交互通行で解除予定
下見関金線(倉吉市森) 11 / 1解除予定

【被害箇所】【県管理】道路55箇所、橋梁0箇所 【市町村等管理】道路41箇所、橋梁0箇所

河川 【被害箇所】【県管理】10箇所 【市町村等管理】1箇所

海岸保全施設 【被害箇所】1箇所

ダム 【被害箇所】0箇所

港湾 【被害箇所】1箇所

治山 【被害箇所】1箇所

下水道 【被害箇所】【県管理】1箇所 【市町村等管理】7箇所

公園 【被害箇所】【県管理】0箇所 【市町村等管理】10箇所

その他施設(砂防設備ほか) 【被害箇所】0箇所

被害箇所
は災害
査定等に
向けて
準備中

(2) 土砂災害危険箇所点検

10 / 22 ~ 28日までに全予定箇所1,146箇所点検済。

A(緊急対応必要箇所): 10箇所、B(経過観察): 59箇所、C(対応不要): 1,077箇所

2. 被災宅地危険度判定派遣

10/21～29日までに予定していたエリアの判定完了。追加判定要請を受けた箇所について11/5までに判定を実施し、終了する予定。

10/30までに4,707件判定 (青(調査済)4,172件、黄(要注意)330件、赤(危険)205件)

企業局の対応

水力発電施設

- ・小鹿第一発電所 導水管路の空気弁からの漏水
・応急対応として発電を停止し、取水口を閉じて抜水作業を行い、漏水が止まったことを確認。(10月24日)
・発電停止期間中は、暫定水位でのダム管理運用を行う。
(運用最高水位 通常:15.9m、暫定:11.5m)
- ・小鹿第二発電所 外構にわずかな段差が発生
- ・その他の発電所 異常なし

ダム及び調整池

- ・茗荷谷ダム 異常なし
- ・中津ダム・調整池 堤体部異常なし
- ・中津ダム湖周辺斜面の崩落も確認されず

風力発電施設 異常なし

太陽光発電施設 異常なし

工業用水

- ・鳥取地区工業用水 異常なし
- ・日野川工業用水 異常なし

小鹿第一、第二発電所の今後の対応

- ・調整池のにごりは、当分の間、経過観察。
- ・漏水止水工事及び隧道内部の安全確認を行い、年内を目途に発電を開始。

県立病院の被害状況及び今後の対応

通常どおり稼働中（前回と変更なし）

【厚生病院】

（１）施設被害・ライフライン

旧館の壁にひびが入る等、建物の一部に損傷はあるが、
診療に影響はない

新館正面玄関前及び救急外来入口等の敷地に段差

検査機器(MRI)や放射線治療機器(リニアック)を含め、全ての機器は通常どおり
稼働中

水道、ガス等ライフラインは完全復旧

復旧工事実施中

（２）診療

外来：一般外来、救急外来とも通常通り

入院：通常通り

（３）給食の提供

24日(月)朝食から通常通り

教育委員会（学校等の状況）

10/31 13:00時点 前回報告時と大きな変更点なし

- 1 授業の実施【県立学校（全32校）及び公立小中特別支援学校（全187校）】**
通常どおり実施
- 2 スクールカウンセラーの活動**
スクールカウンセラーを中部地区の全校に派遣。心のケアが必要な児童生徒に対してカウンセリングを実施中
- 3 兵庫県教委の震災・学校支援チームEARTH（アース）による支援活動**
「鳥取中部地震における心のケア研修会」
国内をはじめ海外においても学校を支援してきたEARTH（アース）の方に講義等をしていただき、児童生徒、教職員への適切な対応に係る研修会を実施する
【10/27(83名参加)、10/31、11/1】
- 4 学校施設・給食センター等への対応状況**
施設の復旧等について、県教育委員会も各市町教育委員会の支援を実施
- 5 教職員への心のケア**
教職員の心身の疲労等が表面化してくる時期であるため、ストレスチェック制度やメンタルヘルス事業（公立学校共済組合）等の活用を呼びかけるなどの対応を実施

鳥取県中部地震の概況

発生日時： 10月21日 14時07分

震源： 鳥取県中部（N35度22.8分、E133度51.3分）

マグニチュード： 6.6（暫定値）

震源の深さ： 11km（暫定値）

【各地の震度（鳥取県関係）】

震度 6 弱 倉吉市、湯梨浜町、北栄町

震度 5 強 鳥取市、三朝町

震度 5 弱 琴浦町、日吉津村

この地震による津波の心配なし